

仕様書別紙

(1) 実施計画の策定

ア 全体概要

(ア) イベント概要

令和4年度と同様に、本事業の日時・会場等を十分に考慮し、東京2020大会のレガシーを活用した更なるスポーツ振興、国内外に向けた東京の魅力発信及び地域振興に効果的なコンテンツとし、サステナビリティ・ダイバーシティに配慮し、子どもや地元住民も参加できるようなイベントとする。

企画提案にあたっては、令和4年度の開催実績や、海外で行われた類似イベントの成功要素を踏まえた上で、本事業におけるイベント運営や広報等に反映すること。

なお、外国人参加者を受け入れることができるよう、参加者募集からイベント運営までの様々な対応を行うこと。

(イ) 組織体制

計画・調達・実施の各段階での十分な業務体制・人員体制を提案すること。

また、担当者等の過去のスポーツイベント実績、交通規制を伴うイベントの実績など、規模（具体的な参加人数など）や知見の有無も含め提示すること。

(ウ) 準備スケジュール

契約から完了までのスケジュールについて、それぞれの業務内容に応じた適切かつ具体的なスケジュールを提案すること。

(エ) 当日スケジュール

当日の運営に応じた適切かつ具体的なスケジュールを提案すること。

イ レインボーライド計画

(ア) コース延伸計画

コースは令和4年度に開催したルートを基本に、以下を提案すること。なお、コースや交通規制（時間、範囲）は関係機関との協議により決定するため、提案内容が採用されとは限らない。

- ・レインボーミドルのルート（延長約19km）を10km以上延伸し、東京の魅力を発信できるように、臨海エリアの景観や雰囲気の良いコースとすること。
- ・コース設定にあたり、既存コースとの連続性や交通規制（時間、範囲）、一般交通の影響を踏まえること。なお、一般道や園路を活用し、国道や沿道地権者が多い道路の使用は避け、周回コースや高速部の延伸も設定しないこと。
- ・イベント開催時間帯の一般交通のう回路を検討すること。

- ・コースにあわせたスタート・フィニッシュエリアの場所の提案も含む。
- ・自転車愛好家からファミリー層（小学生以上）まで幅広い層の参加者が楽しめるようなコース区分（ロングコース、ミドルコース、ショートコースなど）も含む。
- ・コースは非日常感を演出できるよう工夫を凝らし、トンネル等、単調な道路が続く箇所においても走行中に飽きないような仕掛けも企画すること。

【参考】

国道 357 号線の交通量 約 40,000 台/日（休日）

（イ）参加者増加及び参加者募集計画

参加者増加計画については、今年度の募集人数約 3,000 人からの増加を基本として、以下を踏まえて参加人数を提案すること。

- ・各コース区分の参加人数
- ・各コース区分のスタート方法（スタート位置整列や 1 グループ当たりの人数など）
- ・走行空間（走行幅員）
- ・イベントスケジュール（交通規制時間含む）
- ・スタート・フィニッシュエリアの容量を踏まえた運営

参加者募集計画については、令和 4 年度の募集計画を基本とし、増加計画を反映させ、以下を踏まえて提案すること。

- ・自転車愛好家やファミリー層（小学生以上）、海外からの参加者など幅広いターゲットの参加者の応募を目指せる提案をすること。
- ・募集にあたっては参加者のジェンダーバランスや地元枠、VIP 枠等にも配慮し参加枠を設定すること。
- ・参加規程、各コース区分、ルール、参加者募集フロー、キャンセルポリシーを含む。
- ・エントリーサイトはウ広報（ウ）エントリーサイト計画に記載のとおり。

（ウ）スタート/フィニッシュ計画

計画については、参加者増加計画を踏まえた以下を提案すること。なお、スタート/フィニッシュ会場は関係機関との協議により決定するため、提案した会場が採用されるときは限らない。

- ・レイアウト（スタート/フィニッシュエリア、スタート位置整列など）、参加者への案内・誘導（最寄駅など会場周辺も含む）、受付フロー、レンタサイクル貸出フロー、スケジュール、フィニッシュエリアの提供サービス等を含むこと。
- ・イベント当日の参加者受付管理（レンタサイクル含む）は、QR コードなど非接触で人手を少なく円滑に受付管理できるようにすること。

- ・スタート前に、参加者へ対して、走行中の片手運転、停車による撮影禁止などの注意喚起（アナウンスや掲出など）も実施すること。
- ・VIP参加者を受け入れる休憩場所や食事の提供など、参加者が満足できるホスピタリティを提供すること。特に、提供食材については、東京産の食材を使用した飲食物も提供できるようにすること。（参考：昨年度はあんぱん、あんみつなど）
- ・スタート/フィニッシュ地点および休憩スペースなどに記念撮影できるようなフォトスポットを設けること。
- ・利用者がスムーズにサービスを利用できるよう、バイクラックや参加者用の適切な数のトイレ設置なども踏まえてレイアウトを工夫すること。
- ・走行管理ライダー、マーシャル用のバイクラックも用意すること。
- ・外国人参加者に対応できるような人員配置、案内サイン、誘導看板なども行うこと。
- ・雨天、防寒対策も含むこと。
- ・フィニッシュ会場には、参加者の満足度向上に寄与し、SNS等への投稿のモチベーションとなるよう、フィニッシュフード及びドリンクを提供すること。なお、フード等の提供にあたっては可能な限りフードロスを減らすよう検討すること。特に、提供食材については、東京産の食材を使用した飲食物（ホットミールやフィンガーフードなど）も提供できるようにすること。

【参考】

- ・令和4年度のイベント時では、会場周辺にて受付場所の案内や受付後～スタート地点までの案内誘導（スタッフ・案内サイン）が不十分だったため、当日に迷う参加者もいた。

(エ)安全対策計画（資機材配置計画、警備計画を含む。）

イベントを安全・確実かつ円滑に実施するため、計画にはコース延伸や参加者増加計画を踏まえた以下を提案すること。

- ・安全対策については、重点対策ポイント（参加者の事故・トラブルが予見される注意すべき区間や箇所）へ講じるメリハリあるものとし、増加させる参加者の走行の安全性は令和4年度と同レベルを確保しつつ、今年度の資機材や人員配置を見直し、効率化を行うこと。
- ・重点対策ポイントとして、高速道路区間においては、①壁高欄等（自転車に対する転落防止機能が十分でなく、路外との高低差が大きな区間）、②橋梁ジョイント等（タイヤのパンクや陥落の可能性がある箇所）、③下り勾配部（速度超過による転倒、追突の可能性がある区間）④折り返し地点⑤ランプ部等（幅員が狭く、参加者間や壁高欄等への接触の可能性がある区間）。一般道区間においては①～⑤に加え、⑥交差点等（一般車両等の突入の可能性がある区間）を想定。

- ・令和4年度の設営において、特に高速道路区間のスタッフを密に配置してあったため、令和5年度は3割程度削減可能と考えている（上り勾配部や直線部のスタッフ配置を削減等。令和4年度の詳細な配置、人数については、貸与資料参考）。その条件を踏まえ、更なる改善案を提案すること。併せて、一般道についても効率化を行うこと。
- ・交通規制時間を厳守し、コース上及びコース周辺の資機材や人員配置及び設営（設置・撤去）方法、スケジュールなどを提案すること。
- ・資機材は転落防止対策、衝突防止対策、ジョイントや段差、高速道路料金所養生等を含み、設営体制や主な数量、場所、規格等を記載すること。なお、鉄柵、カラーコーンなどの資機材についても、重点対策ポイントにメリハリをつけることで、一般道、高速部併せて1割程度の削減はできると考えている。その条件を踏まえ、更なる改善案を提案すること。なお、橋梁部において、既存の歩道や落下物防止柵等設置区間については、鉄柵・フェンスの設置は想定していない。
- ・重点対策ポイントでは音声と視覚情報で参加者全員（外国人参加者含む）に注意喚起などを行うこととし、業務体制や人員体制、配置図、人数等を記載すること。
- ・雨天時のジョイント養生のズレ防止など雨天対策も検討すること。
 - ・スタッフについては、雨天・防寒対策を検討すること。特に橋梁部上にはスタッフ用トイレ・待機車両を追加するなど防寒対策を行うこと。

（オ）参加者管理計画

参加者管理計画として、走行管理体制（隊列など）、走行状況管理などを含む以下を提案すること。

- ・走行管理体制（参加者隊列など）としては、走行管理ライダー等による先導・最後尾のサポートやトラブル対応、メカニック車両などを配置すること。
- ・参加者の走行状況管理として、ICタグ（チップ）等を活用し、リアルタイムで参加者の走行状況・動態管理を行うこと。
- ・参加者の渋滞が想定される箇所等にはライブカメラ等を設置し、運営本部においてリアルタイムで状況把握できるようにすること。
- ・走行管理ライダーや走行マーシャルは、参加者を安全に誘導するための流動的な走行管理、各コースの時刻管理、参加者等への注意喚起、緊急時対応などを対応し、GPS端末等を携行させ、運営本部に設置する管理用PCで、リアルタイムで位置情報を確認できるようにすること。
- ・走行管理ライダーや走行マーシャルは、自転車の知見や経験があり、参加者の模範となって業務遂行できる人材とし、募集計画（募集方法、スケジュール（募集～研修～当日まで）、研修（内容、試走）など）を提案すること。
- ・雨天、防寒対策も検討すること。

(カ) 交通規制計画（交通量調査等を含む。）

交通規制時間や区域を記載した計画案を策定すること。なお、策定にあたっては、警察署管轄単位、道路、施設管理者単位、制限ブロック単位など渉外調整を効率的に実施できるよう作成すること。イベント当日の交通規制中の通行可能な一般車両動線や歩行者等の横断運用も含めて記載すること。

コース案及び交通規制時間に基づき、交通量調査等を行い、イベント時の交通規制による周辺道路等への交通影響を調査すること。調査は、イベント当日、イベント前の平日・休日を各1回程度実施し、調査日は委託者と協議の上、決定すること。調査箇所はコース、周辺道路等で計10箇所程度とする。調査結果は、イベント実施後2週間以内に速報値を報告すること。

(キ) エイドステーション計画

設置場所については、コース上に1か所以上とし、以下を踏まえて提案すること。

- ・利用者がスムーズにサービスを利用できるよう、参加者数に応じたバイクラックやトイレ設置数なども踏まえたレイアウトとすること。
- ・参加者の満足度向上に寄与し、SNS等への投稿のモチベーションとなるよう、フード及びドリンクを提供すること。なお、フード等の提供にあたっては可能な限りフードロス減らすよう検討すること。特に、提供食材については、東京産の食材を使用した飲食物（ホットミールやフィンガーフードなど）も提供できるようにすること。
- ・外国人参加者にも対応できるように人員配置、案内サイン、誘導看板なども行うこと。
- ・雨天、防寒対策も検討すること。

(ク) レンタサイクル調達計画

参加規模や参加カテゴリーに応じた自転車を十分な数量準備できるようにすること。調達するレンタサイクルの数は1000台程度（ヘルメットなど含む）を確保し、可能な限り台数を増やせるよう調整し、最終的な調達数は委託者と協議の上、決定すること。なお、車種はママチャリ（電動アシスト付き）に加え、ロードタイプやクロスバイクなど複数の車種を調達し、調達方法を提案すること。なお、企業等からの提供が可能か、協賛・スポンサーの点からも検討を行うこと。

【参考】

- ・令和4年度のイベント時は、電動アシスト自転車の操作方法や乗り方がわからない方が多かった。

(ケ) 沿道応援計画

コース沿道での応援のためのスポットを複数設定すること。沿道応援は地域の文化団体に協力を依頼し、文化団体がパフォーマンスをできるスペース、スケジュール

等を調整すること。また、沿道観戦者の混雑時の管理や歩行者の安全な通行のための対策を講じること。なお、雨天、防寒対策を踏まえて検討すること。

(コ) 駐車場計画

参加者、VIP/VVIP、招待アスリート、メディア関係者車両、交通規制関係車両、運営資機材等の搬出入車両などの駐車場所について計画すること。なお、駐車場の借上げ費用は全て受託者が負担すること。

(サ) スタートセレモニー計画

- ・参加者の盛り上げに寄与し、メディアにとってニュースバリューが高いオープニングセレモニーを企画すること。MC や音楽、特殊効果による演出も行い、来賓者対応やメディア対応も行うこと。また、デジタル技術も活用すること。
- ・スタートセレモニーには、デモ走行として、アスリート等の著名人を招待すること。またパラサイクルも走行させること。
- ・出演者については委託者と協議の上、決定すること。

(シ) クリテリウム等デモンストレーション計画

レインボーライドのフィニッシュ会場周辺等を活用し、自転車関連のアスリートによるクリテリウムなどデモンストレーションを実施すること。なお、レインボーライドの安全対策の資機材や誘導員等を活用し効率的かつ効果的な運営を行うこと。また、レインボーライド終了からデモンストレーションの開始までの会場施設の転換に必要なスケジュールも検討すること。

a 種目・形式

エキシビジョンイベントを計画し実施すること。内容については委託者と協議の上、決定すること。

b 式典演出

- (ア) スタートセレモニーのプログラム及び演出等に関する提案を行うこと。
- (イ) レース後の記念撮影、観覧者交流会等のプログラム及び演出等に関する提案を行うこと。

c 来場・観戦者向けコンテンツ

話題性・集客力の面で効果の高いコンテンツを提案すること。

d 国内競技団体等ステークホルダーとの連携

競技体験コンテンツの実施等に当たっては、国内競技団体等ステークホルダーとの連携を積極的に図り、理解・協力が得られるように努めること。また、出場選手の交渉及び確保を行うこと。

e 会場内の中継

マルチスポーツ等業務委託でスクリーンやモニター等を活用してレース中継を行う予定。マルチスポーツ等業務委託受託者と調整すること。

f 来場・観戦者等

来場・観戦者は不特定多数の一般来場者を想定している。なお、関係者の配席管理、当日の誘導案内等及び参加者及び一般観客の来場・退場の導線、安全確保を行うこと。

(ス) ボランティア計画

ボランティア運用に必要なボランティアの人数、配置、役割を提案すること。併せてボランティア研修に必要な研修資料作成も行うこと。また、計画にあたり、ボランティアはおもてなしの精神をもつとともに、ボランティア自身が楽しんで行動できるよう工夫した内容にすること。なお、ボランティア募集などの運用業務は、マルチスポーツ等業務委託で実施する。

(セ) 救護医療計画

イベントの参加者、スタッフ、ボランティア、観客、歩行者等に傷病者が出た場合の医療対応について計画すること。計画には、救護施設の設置場所、AED 等必要となる機材や備品、搬送のフロー、医療従事者配置、人員体制などについて盛り込むこと。なお、マルチスポーツイベントの来場者、スタッフなどの救護も含むものとする。

(ソ) 緊急時対応計画

荒天時や大規模自然災害発生時、イベントにかかる事故発生時など、当初計画通りのイベント運営が困難となった場合の対応について検討すること。

また、開催可否の判断基準等や緊急時の参加者への周知方法を検討すること。なお、悪天候時のコース変更等も検討すること。

(タ) 新型コロナウイルス対応計画

本事業実施時における新型コロナウイルスの蔓延状況を複数想定し、委託者と協議の上、それぞれの状況に応じた適切な対策を検討すること。特に、受付、スタート、エイドステーション、フィニッシュの各会場については、重点的な対策を検討すること。

- ・本事業実施時における新型コロナウイルスの国・都の方針・指針等を遵守すること。
- ・各種の感染症対策は、必要な項目ごとに対策を整理すること。また、催物、スポーツイベント等に係る国や関係団体からの通知及びガイドラインなどを参考に感染症対策の実施レベルに応じ、適切な参加定員など大会規模を検討すること。
- ・変異ウイルス等の出現を踏まえ、イベント開催時期の状況に合った計画に随時変更すること。
- ・来場者及びスタッフ等関係者から新型コロナウイルス感染症等の陽性者（感染疑い含む）が発生した場合の対応・連絡フローを事前に定めること。

ウ 広報計画

(ア) 広報計画

広報計画は本業務には含めず、マルチスポーツ等業務委託で対応するものとする。なお、SNS や HP で発信する情報は本業務で作成すること。

(イ) 制作物計画

レインボーライド参加者への参加ツールなどの制作物を提案すること。なお、制作の際はサステナビリティに配慮し、以下の点に留意し、デザイン費等は受託者が負担すること。

- ・ゼッケンを制作し、事前に送付すること。なお、ゼッケンはわかりやすく、識別しやすい形式とし、胸（背中）とヘルメットに装着できるものとする。
- ・レインボーライド参加者へメダル等の参加賞を制作すること。魅力的なものを提案すること。なお、デザイン統一感に GRAND CYCLE TOKYO に係る受託者同士で連携を図ること。また、VIP 参加者の参加賞は、一般参加者とは異なる更に価値のあるものを提案すること。
- ・参加賞は当日の手荷物軽減できるような工夫（袋にまとめるなど）をすること。

(ウ) エントリーサイト計画

参加者の募集受付については、以下を踏まえたエントリーサイトを提案すること。

- ・エントリーフォームを作成し、応募コース、自転車持ち込みの有無（レンタルサイクルの利用有無）、ファンライドや大会への参加経験などを確認できること。
- ・応募者に対して、当選落選の結果、ゼッケン等事前送付物の案内、当日の開催可否などは、メール等で事前連絡しわかりやすく伝えられるようにし、複数回発信できる体制をとること。
- ・アクセス集中等によるシステムダウン防止対策を行うこと。
- ・応募内容や参加規約、注意事項などがわかりやすいウェブのレイアウト・構成とし、参加者が間違えずに申し込みできるよう工夫し、ユーザーテストを実施すること。
- ・多言語対応（日本語・英語等）を行うこと。

なお、参加者のエントリー時には参加費を徴収し、キャンセルが発生した際には、キャンセルポリシーに従い適切に対応すること。参加費は今年度と同程度とし、詳細については、委託者と協議の上決定すること。

【参考】

- ・令和 4 年度のエントリーサイトのデザインは文字数や情報量が多く、ページが長かった。
- ・コースや参加枠、参加人数、レンタルサイクルなど選択肢も多く、次ページでも同様な選択作業があった。
- ・レンタルサイクルの手配トラブルなどが一部あった。